

# いきいき マインタウン

まちで起こった出来事や気になるあの人を紹介します



フクジュソウ (自然学習園ふるさとの森)

## ふるさと納税寄附者対象

# ふるさとファンミーティング

3月6日(土)、7日(日)、青川峡キャンプパークで「ふるさとファンミーティング」を開催しました。これは、市にふるさと納税をした人が対象の、1泊2日の体験イベントです。市から寄附への感謝を直接伝えるとともに、参加者のいなべへの想いを聴き、ふれあいを通して地域の魅力をより知ってもらうために行いました。

参加した6家族はそれぞれの宿泊するコテージに分かれ、市の職員と協力しながら各体験メニューに挑戦。たき火、コーヒー豆の焙煎、ガーランド作りや、地元食材を使ったいなべオリジナルメニューの調理を行いました。

参加者は「近場に自然体験ができる場所があって、いろいろなワークショップを通して子どもの教育にも良いところだと思いました。将来的に住む場所として魅力を感じました」「いなべを好きになりました」など話していました。



1. いなべのそばやマスなど特産品でおもてなし 2. 親子でたき火体験。マシュマロを焼いてテンションアップ

## いなべの里山に学ぶ!

# 山辺アクティビティ未来体験

2月20日(土)、21日(日)、立田公園で「いなべの里山に学ぶ! 山辺アクティビティ未来体験」を行いました。これは、自然の中で身体を動かしたり、地域のものを食べたりといった身近なことから、SDGsの体験学習をする催しです。市内の39組の家族が参加しました。

参加者は、公園の地形を活かしたサイクリング、自生植物の特徴を文字のかたちで表現するワークショップ、アウトドアグッズの制作を体験。休憩時には、いなべ産品を使った昼食を味わいました。

参加した長瀬雄大さんは「道がつるつるで難しかったけど、マウンテンバイクが楽しかったです。また乗ってみたいです」と話していました。

市では、誰もが楽しんでSDGsに取り組める企画を、今後も予定しています。

1. モバイルヒュッテで出店ブースを設置 2. 山辺をサイクリング 3. アウトドアグッズ「テキスト」で対決 4. 休憩時間。自然の中でゆったりとした時を過ごす



## 三重とこわか国体 いなべ市開催競技

# ハンドボールを体験

3月2日(火)、阿下喜小学校で、日本ハンドボールリーグで活躍する三重バイオレットアイリスの選手による出前授業が行われ、5年生が参加しました。児童はルールを教わった後、シュートやパスなどの練習のほか、チームに分かれて試合をしました。

日本代表でもある石立真悠子さんは「チームの気持ちを合わせることが大事。思いやりのあるパスを出すなどの体験をしてもらえて良かったです」と話しました。感想を聞かれた児童は「楽しかったので、もう一度やりたいです」と答えていました。



1. 選手たちと記念撮影 2. ステップを踏んでシュートの練習 3. 試合は白熱。全力でコートを駆ける児童

## ひなまつり

# 保育園でひなまつり

3月3日(水)、ほくせい保育園でひなまつり会が開かれました。今年は密を避けるため、年齢ごとに分散して行いました。ひなまつり用のパネルシアターを鑑賞したあと、みんなで「うれしいひなまつり」を元気よく歌いました。ひな壇を見ながら、ひし餅やひなあられの色が表す意味を、うなずきながら興味深く聞いていました。



餅やひなあられの色が表す意味を、うなずきながら興味深く聞いていました。

1.2. パネルシアターを鑑賞。おひな様が変わる場面では大きな笑い声が 3. 「右大臣はどれかな?」 4. 給食は五目ごはんなどのひなまつりメニュー! パクッと「おいしい!」



# あげきのおひなさん

2月20日(土)～3月7日(日)まで、北勢町阿下喜のまちなかで「あげきのおひなさん」が開催されました。店舗や一般家庭など約100軒で段飾りや吊るしひなを展示し、訪れた人はマップを片手に阿下喜を散策していました。四日市市から訪れた福田さんは、「以前見た大きなひな壇の美しさが忘れられなくて、見に来ました。今年はメイン会場がなかったけれど、散策しながら一軒ずつ見てまわられて楽しいです」と話していました。

1. 「次はどれを見ようか?」見どころがいっぱい! 2. 家の軒先に見事なひな壇を展示

